

見直しませんか、スキンケア 化粧品学習会

6月27日 用賀ブロック委員会

長引いたマスク生活、お肌の悩みはありませんか？

エルベナシリーズの講師・吹上俊佑さん、塩谷春奈さんを迎え、化粧品学習会を開催。80日間熟成の「薬用エルベナソープ」の製法や特徴、もちもちに泡立てるコツや洗顔の仕方を習いました。そして肌タイプ別のケア法をチェックしながら実際に商品を試します。中でもハイグレードなクリーム登場時は、皆さん目元キラリと真剣な表情に！（その後→うっとり〜）

会場は癒やしオーラに包まれ笑顔いっぱい。コスメは心にも潤いを与えてくれたようです。



生協でしか購入できないラインナップお試タイム。左は講師のお二人



〈薬用エルベナソープ試用品〉ニキビやカミソリ負け防止にも一役。家族で使える石けんです

国立ハンセン病資料館訪問企画 ～知って、学ぶ、ハンセン病問題～

3月15日 第9地域委員会

ハンセン病は、「らい菌」に感染することで起こる病気。明治後期の日本では、ハンセン病はコレラやペストなどと同じような恐ろしい病気と考えられ、1996年の「らい予防法」廃止に至るまでの約90年間、国策として患者の強制隔離が続きました。現在も療養所は全国に14カ所あります。今回、都内全域からの参加者と東村山市にある国立ハンセン病資料館を訪問しました。

参加者からは、「改めて『人権』について意識した。他者の尊厳を守ることを忘れてしまうのはなぜだろう」「国の政策や法律問題だけでなく、歴史・宗教・家についての考えに関わる深い問題、ということを学んだ」などの感想がありました。差別の歴史を繰り返さないためにも、ハンセン病について「知り、学ばなければ」と痛感した訪問でした。



ビデオ上映、学芸員による見学前のガイダンス後、自由見学

ハンガリーの フォークアート刺しゅうを楽しむ

3月15日 第5地域委員会

ハンガリー毛糸刺繍実験所主宰・田中ちひろさんを講師に、中央ヨーロッパの流れをくむハンガリーフォークアート刺しゅうのワークショップを開催。

まず教材キットの毛糸を2分割し、糸処理を練習。針に通すのも苦戦し、説明を受けながら行う布へのステッチも、「今日、ワンポイント刺しゅうができるかな?」と思うほど予想外の難しさ。それでも、講師の作品を見てふっくらとした感触を味わったり、参加者同士で手元を見せ合ったり、いつの間にか楽しく針は進み…。世界の文化・芸術に親しむ時間として、ハンガリー毛糸刺しゅうは心地よく印象に残ったようで、達成感あふれる笑顔で終了しました。定員をはるかに超える応募者や、その注目度から、地域委員会は来年度の実施も計画しています。



度から、地域委員会は来年度の実施も計画しています。



理事会報告 (抜粋)

2022年度第16回定例理事会 2022年6月8日開催
●審議事項 2022年度理事報告の申し送り事項に関する件
●役員人事委員会の設置並びに役員人事委員会規程制定および関連規定の一部改廃の件
●報告事項 2022年度期末の監事監査所見への対応の件 ●内部統制の取り組みに関する報告の件 他

2023年度第1回定例理事会 2023年6月16日開催
●審議事項 2023年度役員体制と代表理事選定および役員報酬額決定・顧問選任に関する件 ●執行役員選任の件
●報告事項 2023年度の理事会等日程確認の件 ●2023年度における組合員常任理事の担当・役割分担に関する件
●2023年度理事会設置委員会および関係団体等への派遣委員確認の件

監事会 だより

現在、監事会は、第2回定例監事会で決定した「監査方針及び監査実施計画」に沿って粛々と監査活動を進めています。その中で監事会が今年度重点的に監視・検証する事項は、(1)草加要冷セットセンター開設および基幹システム刷新に係る投資等を中心とした内部統制の状況 (2)経営構造改革の進捗状況 (3)各事業所におけるコンプライアンスの状態 (4)各配送センターにおけるマネジメントの状態および新業務機構下での地域委員会等組合員活動への支援・連携の状況 (5)安全運転に係る取り組みの進捗状況 (6)資産・什器・備品の管理状況です。また、監事会の監査は、主に理事会等重要会議への出席、常勤理事などからのヒアリング、決算関係書類などの内容に関する検証、各事業所などの実地調査で構成されています。

なお、今年度は、総合企画室、共同購入事業部保障グループ、世田谷センター、和光センターを実地調査対象部署としました。その他各監事が独立して実施する監査や調査が加わり、そして、公認会計士および業務内部監査担当との三様監査連携を図りながら、2023年度末の監査報告を目指しています。

6月のわたしたち

2022年6月20日現在 ※[]内は前年比

★組合員数	256,783人	[99.9%]
加入	2,622人	[129.1%]
脱退	2,149人	[95.6%]
★総事業高	8,425,318千円	[95.6%]
共同購入事業	8,061,911千円	
弁当配食事業	97,584千円	
生活文化事業	65,500千円	
生活支援事業	16,340千円	
その他事業	183,983千円	
★出資金	6,657,505千円	[100.8%]
★1人あたりの出資金	25,927円	[100.9%]
★1人あたりの利用高	6,127円	[100.3%]

今後の理事会日程(予定) 9月21日(木)、10月19日(木)

「トルコ・シリア地震緊急支援募金」へのご協力ありがとうございました

2023年2月27日～6月2日までの受付期間で327万6,800円が寄せられました。お預かりした募金は、認定NPO法人国連WFP協会を通じて、両国の被災者の方々への食料支援に活用されます。

国連WFP協会からのメッセージ

「両国へはトラックで食料や支援物資を搬送。シリアへの緊急支援は今年末まで継続予定ですが、食料・燃料価格高騰による資金不足で支援を7月から削減せざるを得なくなり、人々に深刻な影響を与えることになります。これまでの皆さまの温かいご支援に心より御礼申し上げますとともに、引き続きシリアをはじめとした地震被災者の方々に、お心寄せをいただけますと幸いです」



©WFP/Giulio d'Adamo

組合員の方で日本に農がある風景を残したい 日本の農業を元気に！～未来につなぐみかんの木 大矢野サポーター～

4月8日、(農)大矢野有機農産物供給センター(熊本県 上天草市)の農地に120本の「未来につなぐみかんの木」を植樹しました！
2022年度はサポーターに329人が登録(登録費は年間6,000円)。登録特典として、年3回の農産物セットお届け、産地からのお便り動画、産地(熊本県)交流訪問時の費用一部補助などがあります。

主な取引農産物
果物：みかん、河内晩柑、清見オレンジ、ポンカン、パール柑
野菜：里いも、しょうが、玉ねぎ、ごぼう、葉玉ねぎ、新玉ねぎ



4月8日に植樹式を開催しました

7月はオンライン交流会を開催し、11月には産地訪問を計画。2年目のサポーター募集も行います。お楽しみに！

Pick up! 2022年10月「労働者協同組合法」施行 ～「協同労働」という働き方を学ぶ～

4月1日 共同購入事業部 組合員活動推進グループ

法人格の比較対照表

	労働者協同組合	企業組合	特定非営利活動法人(NPO 法人)
目的	持続可能で活力のある地域社会の実現に資する事業	働く場の確保、経営の合理化	特定非営利活動による不特定多数の人の増進
事業	労働者派遣事業以外	制限なし	法律で規定する20分野
設立手続き	準則主義	認可主義	認証主義
設立要件	3人以上の個人	4人以上の個人	10人以上の社員(会員)
主な資金調達	組合員による出資	組合員による出資	会費、寄付など(出資は不可)
配当	従量分量配当(出資配当は不可)	従量分量配当年2割までの出資配当	不可

日本労働者協同組合(ワークスペース)連合会センター事業団の篠原健太郎東京統括本部事務局次長と北川裕士東京中央事業本部事務局局長を講師に「協同労働」という働き方の学習会を開催。地域の任意団体やNPO法人などで活動している組合員が参加しました。労働者協同組合とは、組合員自らが出資、それぞれの意見を反映して、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織です。2022年10月には協同労働組合法が施行され、簡便に法人格を取得できるようになりました。誰もが意欲、能力に応じた働き方ができ、主体性を発揮し目的意識を共有することで、仕事の質向上にもつながる協同労働。組合員は組合と労働契約を結ぶことによって、労働基準法などの法令による労働者として保護されます。

参加者からは、組合員の意見反映の仕組みや労働契約、出資方法や運営の持続性について質問が出ました(法人格の違いは対照表を参照)。東都生協では持続可能な地域共生社会の実現のため、組合員による労働者協同組合設立との連携を模索し、学習の機会を提供しています。